

航空貨物輸送論Ⅰ ガイダンス

航空貨物輸送論Ⅰの対象範囲	国際航空貨物輸送、その現状と展望
授業概要	シラバス参照
到達目標	シラバス参照
授業計画	シラバス参照
評価基準	シラバス参照
講義の進め方	講義形式で行ないます。分からない点は積極的に質問してください。授業中にできなかった質問は出席票の裏に書いて提出してください。次の回の授業で必ず回答します。
備考	授業で使用するスライドのコピーは配らないので、ホームページ(http://sky.geocities.jp/matsuyama_hisaaki/)に掲載したスライドを事前にプリントして授業に臨んでください。

リンク : http://sky.geocities.jp/matsuyama_hisaaki/

意外に身近な航空貨物

- 生鮮食料品からパソコン、IC製造機械まで -

< 電器・機械・精密・化学品等 >

半導体、スマホ、ゲーム機、デジカメ、パソコン
自動車、自動車部品
半導体製造装置、液晶パネル製造装置
医薬品、化学品



自動車部品

< 食料品・切花等 >

アメリカン・チェリー : 5-6月頃、カリフォルニア州、オレゴン州、ワシントン州から
ボジョレ・ヌボー : 11月に、フランスから
鮮魚 : 世界中からマグロ、ロブスター等 「成田漁港」
切花 : 東南アジアから蘭の花、アフリカ、南米等からも



切花



アメリカン・チェリー



ボジョレ・ヌボー



マグロ



ロブスター

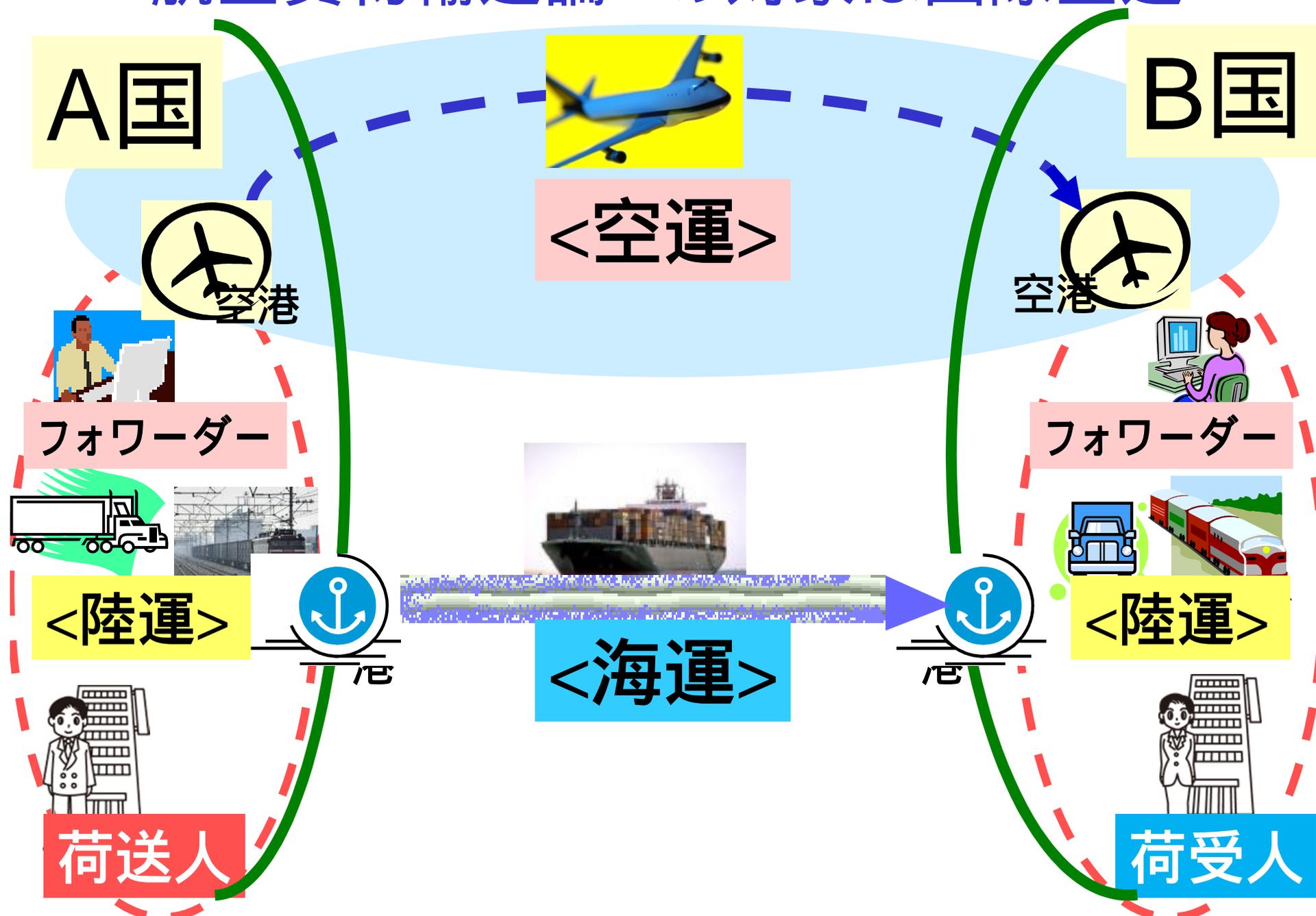


ステッパー



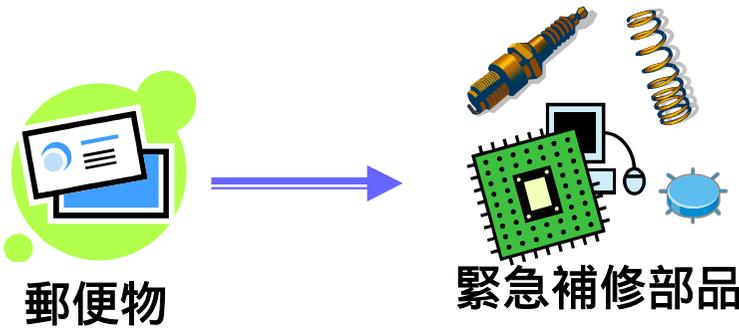
電気製品

航空貨物輸送論 I の対象は国際空運



航空貨物輸送の歴史

< 輸送対象となる貨物の多様化 >



< 貿易の拡大 >

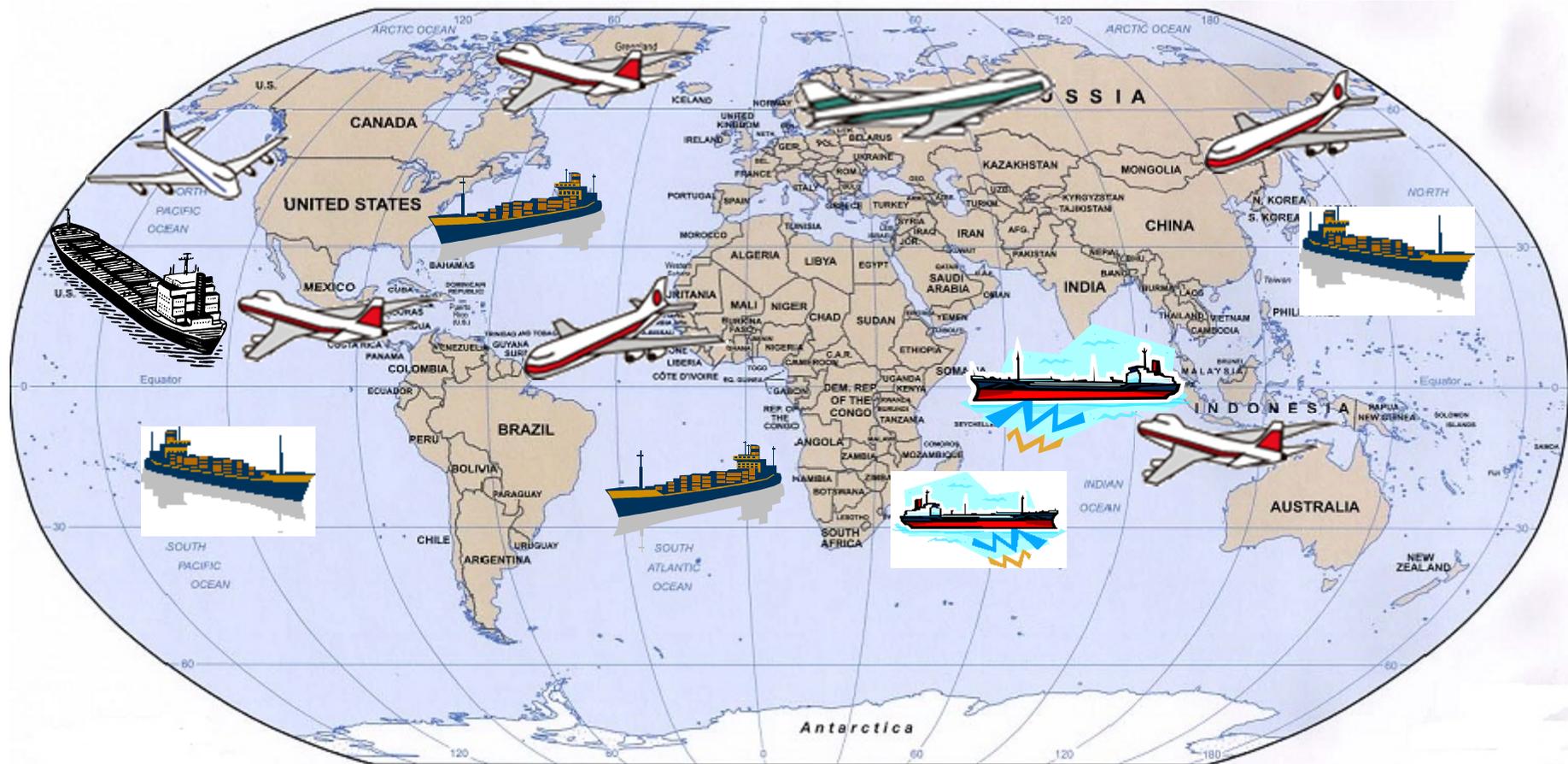


< 航空機の発達 >



金額ベースで貿易の1/3は航空輸送

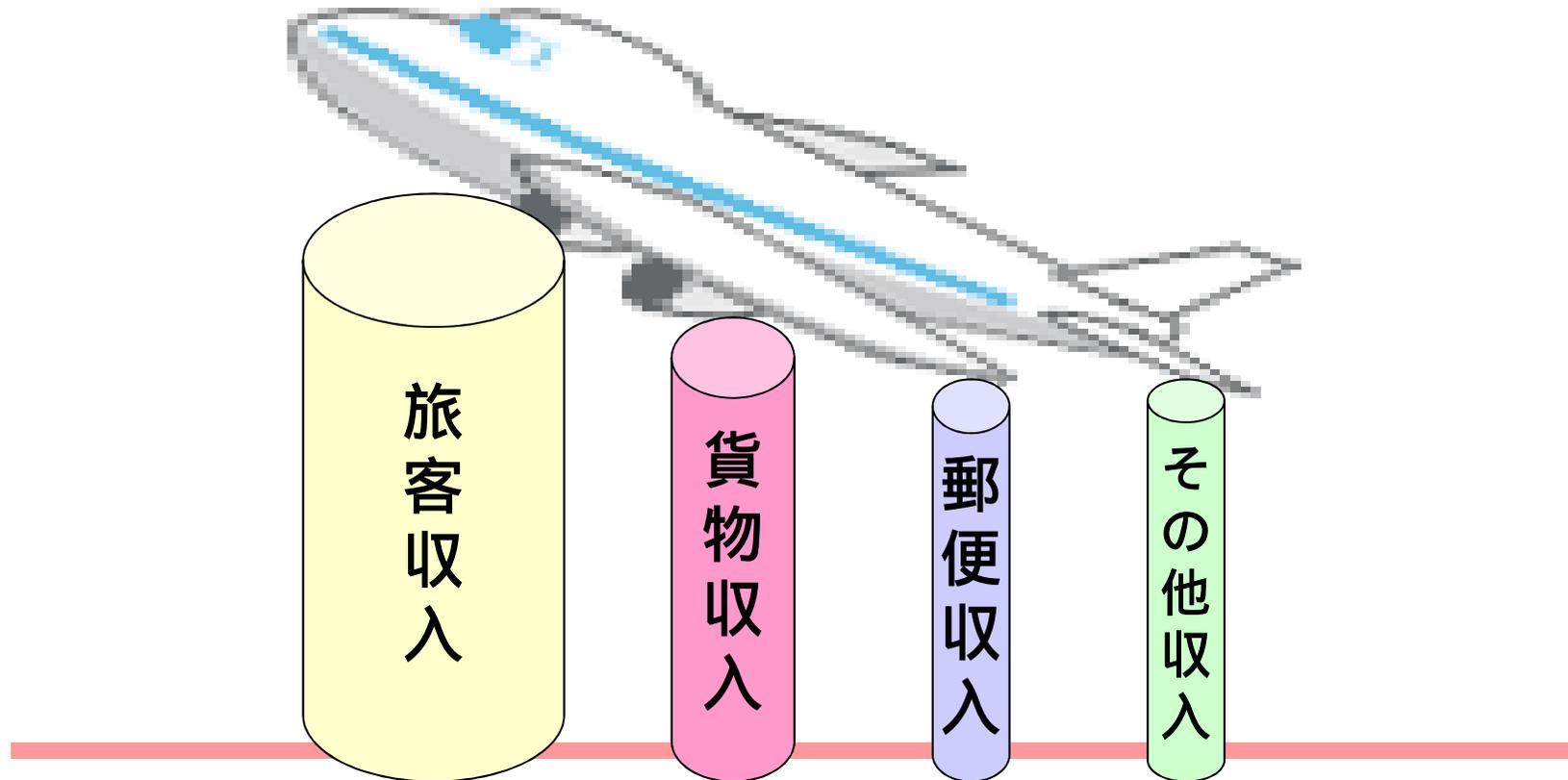
世界の貿易金額の3分の1は航空輸送によっている。(出処:IATA)
航空貨物輸送は世界の貿易活動を支える輸送手段となっている。



参考：世界の商品貿易額は約16兆ドル(2015年)(前年比13%減と6年ぶりに減少)

航空会社の貨物事業

多くの航空会社は旅客と貨物の双方を輸送しており、貨物事業は重要な収入の柱の一つになっている。



航空輸送にかかる国際間の取決め

船舶は「海運自由の原則」によって、原則として、自由に航行し、貨物の積卸をすることができる。しかし、航空機を運航し、旅客・貨物を積卸するためには、関係国間の取決めが必要である。



貨物ターミナルと貨物取扱機材

空港、貨物ターミナルの機能、使用されるパレット・コンテナ、貨物ハンドリング機材等はどうなっているか？

フォワーダーが貨物を
航空会社の貨物ターミナルに搬入



空港の貨物ターミナル



コンテナに積付け

パレット・コンテナに積付けた
貨物を航空機まで搬送

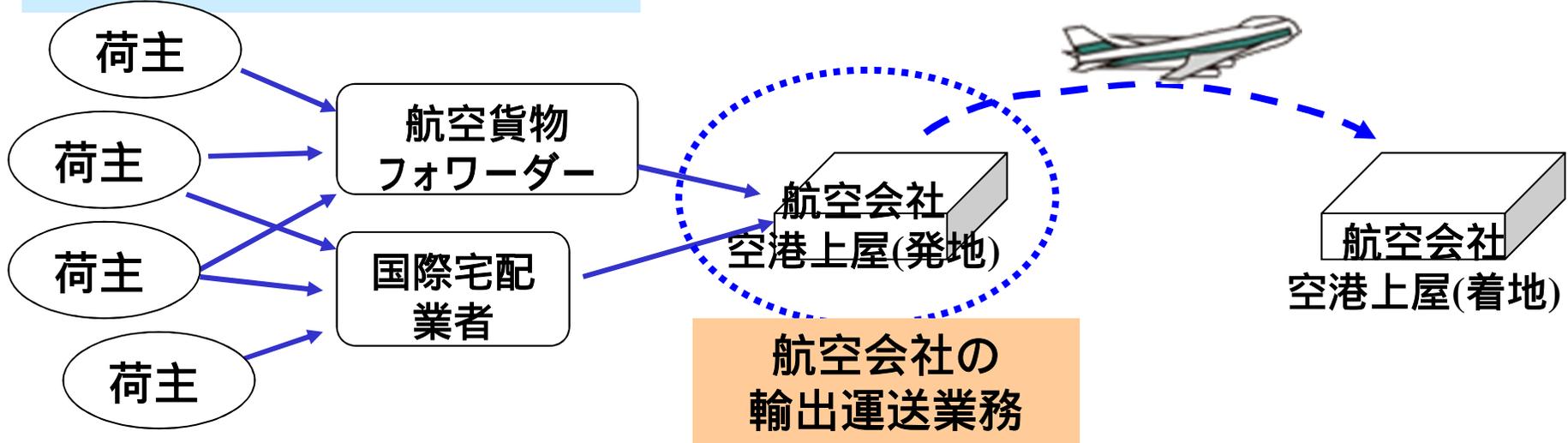


貨物を航空機に搭載

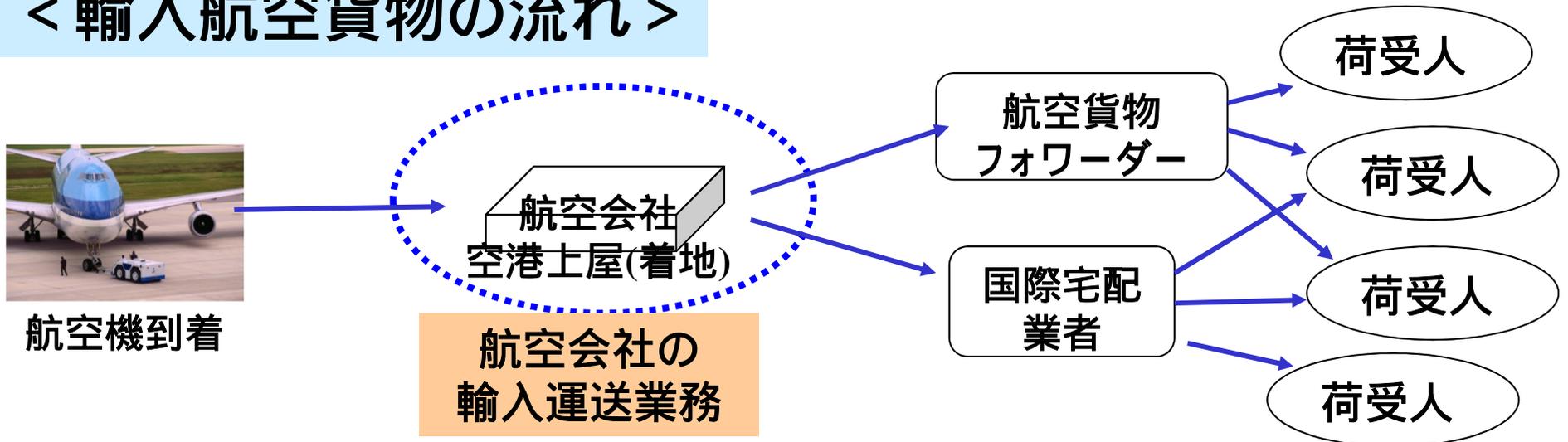


航空貨物の運送取扱い

< 輸出貨物の流れ >

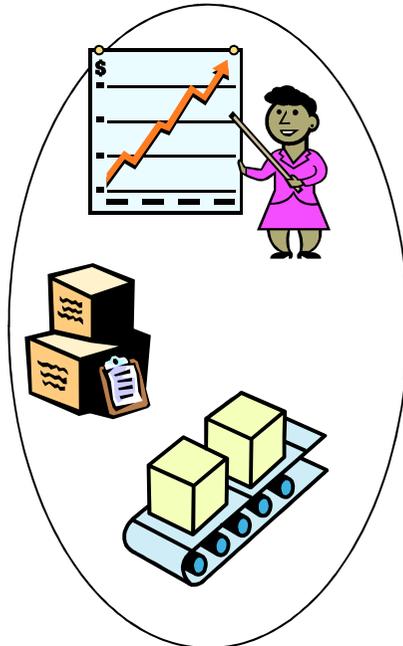


< 輸入航空貨物の流れ >

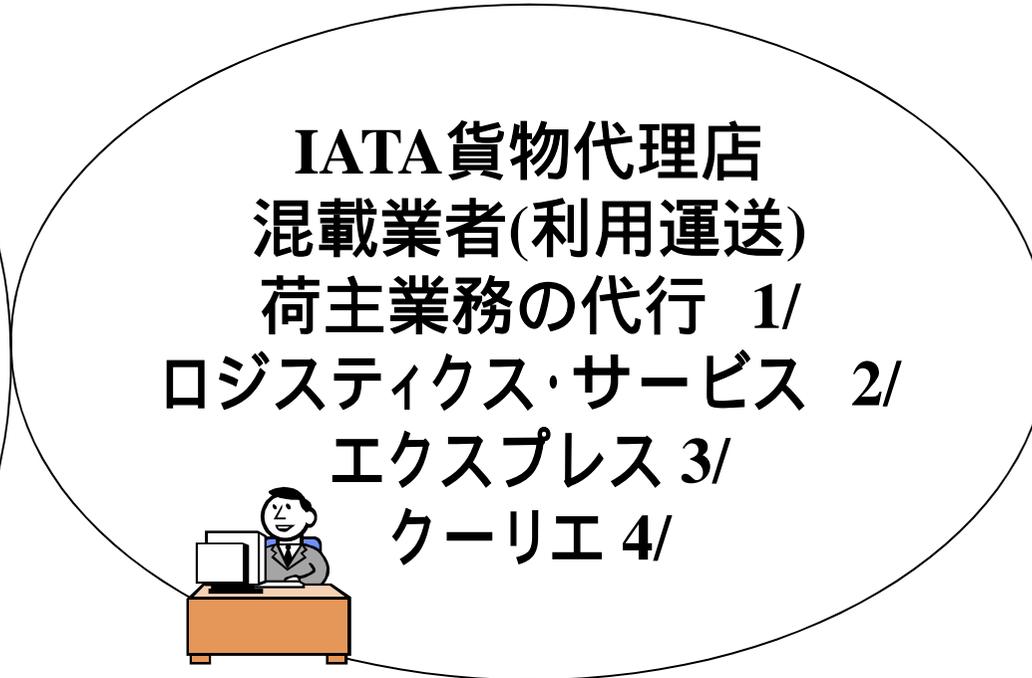


航空貨物フォワーダーの役割

航空貨物フォワーダーはどのような役割を果たしているか？

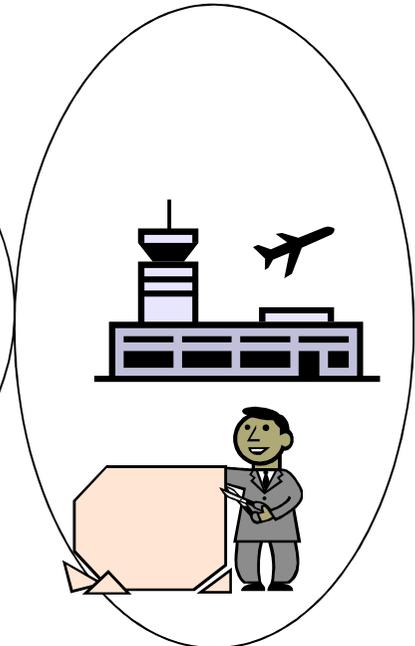


荷主



IATA貨物代理店
 混載業者(利用運送)
 荷主業務の代行 1/
 ロジスティクス・サービス 2/
 エクスプレス 3/
 クーリエ 4/

フォワーダー



航空会社

-
- 注 1/ 荷主業務の代行：貿易関係の手続き、書類作成等
 2/ ロジスティクス・サービス：輸配送、物流倉庫の運用等
 3/ エクスプレス：国際宅配便サービス
 4/ クーリエ：オンボード・クーリエ・サービス(旅客手荷物で輸送)

国際宅配便(エクスプレス)

国際宅配便とはどのようなサービスか？どのような業者があるか？

特徴 ドアツードア輸送
 ドアツードアの包括的な通し料金
 ドアツードアの通しの運送責任



ユーピーエス



フェデックス



ディーエイチエル



ティーエヌティー



OCS
国際宅配サービス



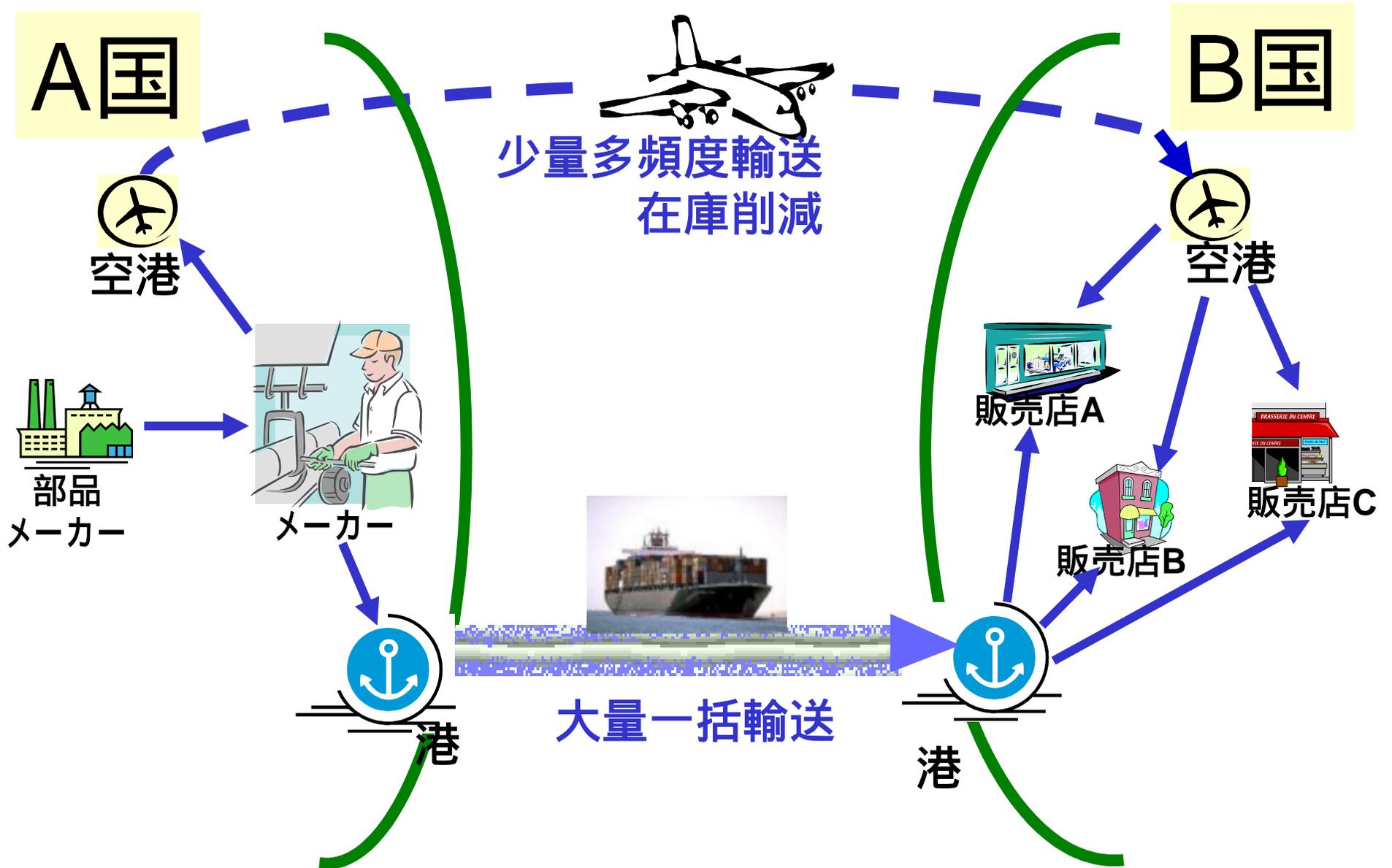
日本通運
海外ペリカン便



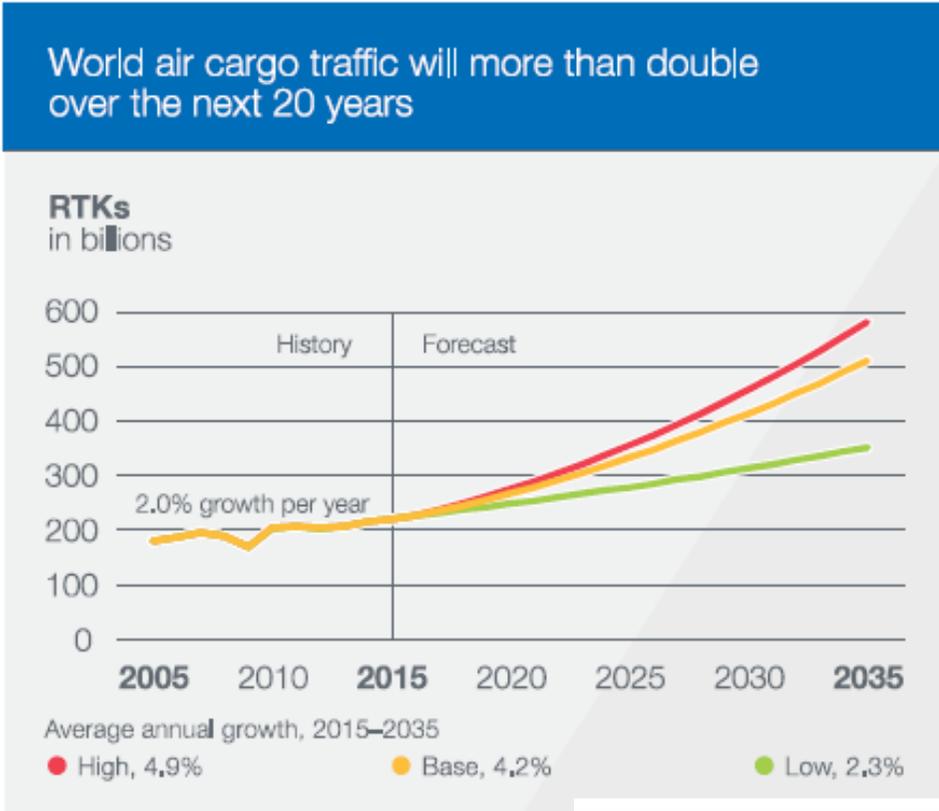
近鉄エクスプレス
クーリエサービス

ロジスティクスと航空貨物

ロジスティクスとは何か？ ロジスティクスと航空貨物の関わりは？



航空貨物の 需要の見通し



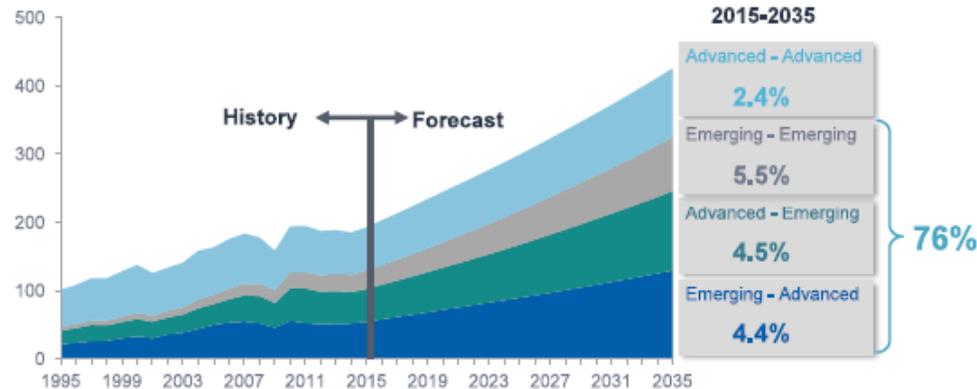
ボーイング社の予測

エアバス社の予測



Freight traffic growth, domestic + international

FTKs (billions)



20 year world annual FTK growth

4.0 %

Total traffic growth for main deck and belly

航空貨物に関する情報システム

< 航空貨物業界の情報化の歴史 >

旅客予約システム、貨物情報化の必要性

< 航空会社の情報システム >

具体例(JAL他)、主な機能

< フォワーダーの情報システム >

具体例、主な機能

< 関係者間の貨物データ交換 >

電子情報交換(EDI)、Cargo Community System

< 税関のシステム >

NACCSシステム

< IATAの取組み >

ペーパーレス化、貨物輸送品質の向上

< 新技術 >

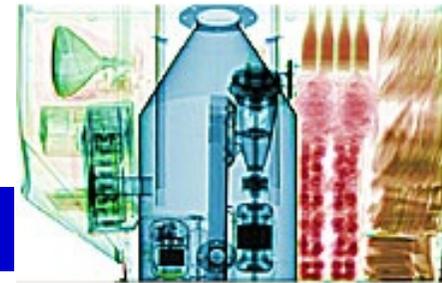
自動認識技術

課題と展望

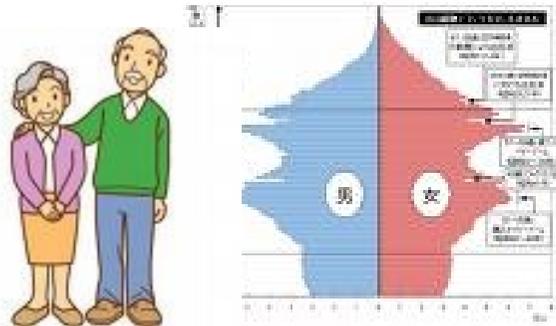
航空貨物輸送に関してどのような課題があるか？航空貨物輸送の将来の展望はどうか？



地球環境問題



保安問題



少子高齢化問題



厳しい経済情勢